

2007年度 シラバス (授業計画)

科目名	言語テクノロジー演習 I EC		
担当者	郡司 隆男	曜日・時限	木曜・2限

テーマ コンピュータによる言語処理入門

授業内容 コンピュータでことばを処理するということにまったくの初心者を対象に、その初歩から解説していきます。理論を学ぶだけでなく、実際に手を動かして、コンピュータでことばを処理するとはこういうことか、と納得してもらいます。既存の専用プログラムを使えばあっという間にできてしまうことでも、将来、自分の力で発展した使い方ができるようになるためには、そのしくみを理解しておく必要があります。そのために、単に言われたままにキーを押えるのではなく、1つ1つのステップで何が起きているのかを理解した上で先に進んでいくことを心掛けます。

前半は、言語データの入力、加工、集計、統計などを一通りやっていきます。

後半は、調べたことを効果的に人に伝える方法を学んでいきます。言語テクノロジー特殊講義の続編のような感じになりますが、未習の人にもすぐに追いつけるように授業の進行を工夫するつもりです。

授業計画 前期はテキストに沿って、そこに書かれていることを実際にやってみる。後期は自作の教材をもとに課題をどんどんこなしてもらう。

以下は大体の日程。より詳しくは

<http://sils.shoin.ac.jp/~gunji/THU2/> を見ること。

4月12日 クラスの方針の説明、座席の決定

4月19日 システムのインストール

4月26日～5月24日 テキストの入力と加工

5月31日～6月21日 手動による語彙表の作成

6月28日～7月5日 統計的分析

7月12日～7月26日 テキストの自動分析

9月27日～10月25日 綺麗なレポートの書き方

11月1日～29日 より見栄えのする文書の作り方

12月6日～12月20日 卒論の正しい書き方

1月10日 プリゼンテーション用スライドの作成

1月17日 まとめ

授業方法 演習形式。

評価方法 授業中に何度か課題を出します。これはすべて提出することが義務です。それと学期末のレポートの評価で総合的に判定します。

履修上の注意 DVD-RAM にシステムをインストールするので、忘れないこと。忘れると、教室に来ても何もできないので注意。

授業に関係ないことを授業中にしないこと。

この授業用の掲示板を頻繁にチェックすること。欠席の場合は自習して追いついておくこと。

教科書 奥村晴彦『[改訂4版] L^AT_EX 2_ε美文書作成入門』(技術評論社, 2007)

参考書 伊藤雅光『計量言語学入門』(大修館書店, 2002)